

## 部長就任のご挨拶

### 小児科 部長 榎 日出夫（えのき ひでお）



このたび2022年8月1日付けで川崎医科大学小児科学特任教授ならびに附属病院小児科部長を拝命いたしました。謹んでご挨拶申し上げます。私は岡山で生まれ育ち、1986年に岡山大学医学部を卒業しました。もともと神経学に興味を持っており、卒後の進路として小児神経学の道を歩み出しました。若き日のこの選択は間違っていなかったと、その後の30余年の経験から確信しております。まず、岡山大学脳代謝研究施設発達神経科学部門（現：岡山大学大学院発達神経病態学教室）で小児神経学について充実した研修を受ける機会を得ました。学位取得後、倉敷市水島の三菱水島病院で小児科全般の臨床経験を積みました。再び、岡山大学に戻り、小児神経科病棟医長を任せられ、研究では光感受性てんかんに着目しました。折しも1997年に発生した「ポケモン事件」は忘れられない体験です。ポケモン視聴で症状をきたした小児について県内諸施設のご協力を得て精査し、「光感受性発作」であることを確認しました。2000年には東京大学大学院認知言語神経科学にて神経心理学の研究生生活を過ごしております。2002年に静岡県聖隷浜松病院に赴任しました。同病院は日本で有数のNICUを有する施設であり、まずここで新生児診療を学びました。また小児救急の事例も豊富で、貴重な経験でした。2008年には同病院にてんかんセンターを創設し、センター長として日本で有数のアクティブな部門を育てることができました。一方、頭痛診療や漢方治療にも手を広げ、それぞれ専門医の資格を取得しております。

今回、中野貴司主任教授のもと川崎医科大学小児科学で教育・臨床・研究に従事する機会を得ました。郷里に戻り、再び大学人として活動する場を与えられましたことを感謝申し上げます。てんかん、頭痛、漢方の三本柱で地域の小児医療と大学に貢献できることを喜び、ますます意欲を高めております。



「川崎医科大学附属病院NEWS」としてFAXしていましたが、9月号より、タイトルを「きずな。」へ変更しお届けします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

川崎医科大学附属病院 地域医療連携室  
〒701-0192 倉敷市松島577

TEL : 086-464-1567

FAX : 086-464-1166

Mail : renkei@med.kawasaki-m.ac.jp